



平成 29 年 9 月 13 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 エ ニ グ モ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 須 田 将 啓
最 高 経 営 責 任 者
(コード番号：3665 東証マザーズ)
問 い 合 せ 先 取 締 役 金 田 洋 一
コーポレートオペレーション本部長
TEL. 03-6894-3665

連結業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向を踏まえ、平成 29 年 3 月 15 日に公表した通期（平成 29 年 2 月 1 日～平成 30 年 1 月 31 日）の連結業績予想の修正を決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 30 年 1 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 2 月 1 日～平成 30 年 1 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,977	1,966	1,966	1,342	64.49
今回修正予想 (B)	4,418	1,423	1,426	539	25.90
増 減 (B-A)	△558	△542	△539	△803	—
増 減 率 (%)	△11.2	△27.6	△27.4	△59.8	—
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 1 月期)	4,147	1,768	1,763	1,143	54.92

2. 特別損失の見込み及び修正理由について

(1) 特別損失の見込みについて

- ①当社の連結子会社であるロケットベンチャー株式会社の株式について、メディア市場における平成 28 年末に発生した市場の混乱を背景とする広告売上の継続的な減少に伴い、同社株式の取得当初に想定した中期収益予測における達成見込みに不確実性が増したため、戦略的な見直しを行う必要があると判断し、第 3 四半期において同社株式に対する減損損失（のれん）として約 435 百万円が発生する見込みであります。
- ②当社の韓国連結子会社である株式会社エニグモ코리아は、韓国におけるソーシャル・ショッピング・サイト BUYMA KOREA を展開しておりますが、当社における海外事業展開における経営資源の選択と集中を図る一環として、将来に鑑みたグループ事業投資の最適化を検討いたしました結果、同社が運営する BUYMA KOREA を当社が運営する BUYMA. US に一本化することとしましたため、平成 30 年 1 月期決算において、同社の解散に係る損失について約 18 百万円を計上する見込みであります。

(2) 修正理由について

①売上高、営業利益及び経常利益の修正について

当社の連結子会社であるロケットベンチャー株式会社が運営するメディア事業は、平成28年末に発生した市場の混乱を背景とする広告売上の減少により、平成30年1月期通期業績予想における想定売上高に到達しない見込みであります。

また、当社基幹事業でありますソーシャル・ショッピング・サイト「BUYMA(バイマ)」は、当第2四半期末時点の会員数は、前年同期比127.7%の4,452,434人、アクティブ会員数は、前年同期比121.3%の933,472人と着実に積み上げを行っております。一方で、当第2四半累計期間における新規登録会員数は、前年同期比94.4%の454,393人と、平成30年1月期通期業績予想における想定取扱高を約8%程度下回る水準で推移しております。

このような状況を考慮し、通期売上高、営業利益及び経常利益の業績予想（連結）を修正いたします。

②親会社株主に帰属する当期純利益の修正について

上述のとおり特別損失として、ロケットベンチャー株式会社の株式に対する減損損失及び株式会社エニグモコリアの解散に係る損失の計上が見込まれることに伴い、親会社株主に帰属する当期純利益の業績予想（連結）を修正いたします。

以 上